

補助金・交付金チェックシート(No.1)

補助金名 (交付金名)	商店街等イベント開催補助金	開始 年 度	令和2年度
団 体 名	商店街振興組合、事業協同組合または協同組合連合会で小売市場を運営する団体、函館市商店街連盟に属する商店街団体、商工会	団体等 の状況	☒ 課税事業者 ☒ 免税事業者
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市商店街等イベント開催補助金交付要綱		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	商店街等が賑わいの創出を図るとともに、イベントを通じて商店街等の周知を図り、顧客の獲得を目的として実施するイベント事業に対して、事業費の一部を補助する。
目 的	(目 的) 商店街等が実施するイベント事業を支援することにより、商店街等の賑わい創出を図るとともに、イベントを通じて商店街等の周知を図り、顧客の獲得の促進を目的とする。
・ 効 果	(効 果) 商店街等がイベントを実施することにより、地域の賑わいの創出が図られるとともに、地域経済の活性化に資することが期待される。

○補助事業の収支状況 ※上段:補助事業等に要する経費 [下段]:補助対象経費 (単位:千円)

収 入	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	自己負担	計
		市	その他					
	R元							0 []
	R2	1,225 [1,225]					613 [613]	1,838 [1,838]
	R3	1,069 [1,069]					535 [535]	1,604 [1,604]
	R4	1,593 [1,593]					797 [797]	2,390 [2,390]
支 出	R5	5,818 [5,818]					2,909 [2,909]	8,727 [8,727]
	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	R元							0 []
	R2			1,838 [1,838]				1,838 [1,838]
	R3			1,604 [1,604]				1,604 [1,604]
	R4			2,390 [2,390]				2,390 [2,390]
	R5			8,727 [8,727]				8,727 [8,727]

補助金・交付金チェックシート(No.2)

補助金名 (交付金名)	商店街等イベント開催補助金
----------------	---------------

○基本的視点の再チェック

基 本 的 視 点		適	不適	説 明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	商店街等は、地域コミュニティが衰退しているなか、市民から地域の核となる役割が求められており、商店街等がイベントを企画することで、市民等と連携が図られるほか、イベントの実施内容の創意工夫により、多くの市民が参加し、市民ニーズが高い事業となっている。
2	必要性(補助しなければならない事業であるか)	☒	☐	消費者のライフスタイルの変化や大型店の出店等により、厳しい経営環境にある商店街を支援することにより、個々の商店の振興、ひいては本市商業の振興に寄与すると考えることから必要である。
3	自主性(自主自立に向け努力しているか)	☒	☐	前制度の元気いっぱい商店街等支援交付金を見直し、現制度は補助割合および上限額を大幅に引き下げるなど、補助対象者の自主自立を促している。
4	有効性(他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	☒	☐	商店街等を取り巻く環境が厳しさを増すなか、商店街等の活性化を図り、商店街等が自主自立するまでは支援が必要である。

○財政的視点のチェック

財 政 的 視 点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☐	
4	補助割合は、補助対象経費の1／2以内である	☒	会員数の減少など厳しい経営環境においてイベント実施が可能となる自主財源の確保状況などを勘案し、適切な補助割合としている。
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	商店街等イベント開催補助金
----------------	---------------

○補助効果の検証

(効果測定方法、具体的な数値等)	
イベントの開催件数と各イベントの参集人員数で効果を測定する。	
(達成状況)	
令和2年度	開催件数 4件 参集人員 10,800人(合計)
令和3年度	開催件数 3件 参集人員 47,500人(合計)
令和4年度	開催件数 4件 参集人員 8,600人(合計)
令和5年度	開催件数 10件 参集人員 42,900人(合計)



(評価)	(理由)
☒ 十分効果をあげている ☐ 一定の効果をあげている ☐ 効果が疑問である ☐ その他	商店街等が行うイベントには多くの市民が参加し、地域の賑わい創出と商店街等の魅力発信に繋がっている。

○今後の方向性

☒ ☐ ☐ ☐	☒ 現行のまま補助を継続 ☐ 見直したうえで補助を継続 ☐ 廃止 ☐ その他	(見直しの内容) 商店街等を取り巻く環境が厳しさを増すなか、集客イベントや販売促進活動の実施は、地域の賑わい創出や商店街等の魅力発信、活性化に繋がっており、引き続き支援が必要と考えられるため。
		(見直しの時期)
	(廃止の理由)	(その他の内容)
	(廃止の時期)	

○終期の設定

終期設定	☐ 終期到来により廃止 ☒ 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
令和 8 年度		令和 8 年度